

# しまなみロード

8月18日(木) ~ 8月21日(日)

IN しまなみ海道(尾道市マリユースセンター、みやくぼ石文化交流館)

	午前	午後	夜
1日目	尾道に向けて出発	向島出発 ユースセンター到着	振り返り
2日目	サイクリング(因島、生口島、大三島、伯方島、大島)		振り返り
3日目	今治市へ出発	今治市内散策	フェリー乗船、振り返り
4日目	関西に到着・解散		

**一日目:** 今年もしまなみの夏が始まりました。尼崎に全体集合し、いざ尾道へ! 尾道までは在来線を使って乗り継いで向かいます。道中では、自己紹介から始まり、好きなものや学校紹介など様々な会話が生まれていました。車内でしっかりと交流が出来ていたため、尾道に着く頃には、グループ内での繋がりもしっかりと出来上がっていました。尾道に到着後、早速自転車を借りに向かい、自転車について話を聞き、講習をしました。普段乗り慣れていても「みんな」になると一筋縄ではいきません。声を掛け合い、合図を送り合いながらしっかりと練習をしました。そして、第一の島「向島」に渡り、しまなみロードスタートです!! 初めはグループの足並みがバラバラで、車間が離れたり、前に衝突したりしていましたが、ゴール間際にはそれなり走りの形が出来ていました。この日のゴールは「尾道マリユースセンター」です。到着後は、寝るためのテントを設営し、寝袋を準備しました。それが終わるとキャンプ期間中、毎夜行う振り返り、「過去・未来日記」をしました。これを元に明日の目標を定めて頑張ってください。テント泊と慣れない環境下でしたが、疲れからかすぐに休まれていました。

**二日目:** 朝から明るい声が聞こえてきました。皆、ぐっすり休まれていたので元気一杯です。朝食を済ませると、昨日完成出来なかった絵日記を完成させました。寝泊まりに使用したテントや寝袋を片付けると出発です。二日目は昨日よりも何倍もの長距離を走ります。距離を発表すると皆驚かれていましたが、同時にやる気みなぎっている様子でした。各グループ、走るペースは異なりますが、前だけを見て走っていました。疲れから遅れてくるメンバーにエールを送り、力を合わせて走っている様子が伺えました。二日目の昼食は自分達で購入していただきます。コンビニやスーパーで好きなものを購入していただくので、お店で何を食べてよいか選ばれている時、ワクワクされていました。グループで囲んで食べている際、ホッとする一時を過ごされており、非常にリラックスできていました。道中に海水浴場があり、そこで楽しむグループもありました。暑く火照った体に冷たい海水が染み渡り、とても気持ち良さそうでした。この日の最後の島、「大島」に渡ると、ゴールの施設までひたすら登り坂が続きます。初めは緩やかさ坂道ですが、施設に近づくにつれ、徐々に急斜面になってきます。斜度がきつくなり、更に疲れもピークに差し掛かってきますので、つい弱音が出てきました。そういう時こそ声を掛け合い、励まし合いながら、進んでおられました。時間に差はありましたが、全グループ無事にゴールすることが出来ました。到着後は、早速入浴をし、体の汚れと疲れを落としました。夕食は「夏野菜カレー」です。お腹もぺこぺこで、沢山おかわりされていました。夕食後は、二日目の振り返りです。今日は一日が長かったので、話し合う事も沢山あります。しかし、疲れから眠気が襲ってきて、グループによっては途中で切り上げ、就寝されました。明日はゴール今治市へ向かいます。ゆっくり休んで、無事にゴールしましょう。



**三日目：** 朝の起床時間ギリギリまでどの部屋も静かでした。起こしてもなかなか起きない方もおられるほど疲れが溜まっているようです。起床後、部屋の清掃、荷物の整理などを済ませ、朝ごはんをいただきました。その頃には皆元気になられており、意気込みも良かったです。昨晚完成しなかった絵日記を書き上げると、ゴールの今治城へ向けて出発しました。昨日はひたすら登り続けた坂道を今日は一気に下ります。速度と車に気を付けながら、気持ち良さそうに疾走されていました。坂を下りきると、最後の橋【来島海峡大橋】が見えてきました。これまで渡ってきた橋とは桁違いの大きさに驚きと興奮をされていました。橋を渡ると潮風が吹き当たり、とても気持ち良さそうでした。橋を渡り終えると、ついに四国本土に上陸です。ここまで来ればゴールまであと少しです。また、今治市内に入るの、交通にも今まで以上に気を付けながら進みました。市内中心地に入り、途中昼食を済ませつつ、ついにゴールの【今治城】に到着しました。到着時は喜びよりもこれまでの疲れが大きく、はしゃぐほどの感動はされていませんでしたが、『確かな達成』を噛み締めておられました。全員が揃い、写真撮影をすると、自転車返却までの残り時間は市内観光に充てました。城内散策をしたり、お土産を購入したり、寺社巡りをしたりされました。タオルで有名な“今治タオル”を見に行き、高級タオルを購入されていました。夕食は各グループお店に入り、好きなメニューを注文されていました。皆で食卓を囲み、沢山会話をしながら、晩餐を楽しみました。夕食を終えると、三日間共に過ごした自転車とお別れをしました。そして大阪に帰る為、東予港に向かいました。既に乗船するジャンボフェリーは停泊しており、その大きさに驚かれています。船内に入ると、まるでホテルのようで、更に驚かれています。各部屋に入り、入浴を済ませ、今日の振り返りをしました。三日目となると何について話し合うか、どう目標を設定するか馴れた様子で、スムーズに話し合えていたと思います。起きた頃には関西に戻っています。長旅お疲れ様でした。



**四日目：** 朝起きると、既に船は大阪南港に到着していました。心地のよいベッドにもっと寝たい気持ちを抑え、頑張つて起床し、着替え、荷物整理を行いました。朝食はなんとフェリー会社からのご厚意で、船内レストランでいただく事が出来ました。食事を済ませ、下船をすると、最後の絵日記の作成に取り掛かりました。お題は、『このキャンプを通して学んだこれからの自分』です。各グループ、しまなみ海道を走って何を感じて、何を学んだのかをグループ内でしっかり話し合い、絵日記を完成させました。これでキャンプの全てのプログラムは終了となります。尼崎に戻り、全体解散後、各解散場所へ向かいました。解散時にメンバー同士抱き合ったり、握手をしたりされる様子が伺えました。最後まで一緒に走った友達の名前を呼び合う声を聞きました。別れを惜しむ姿があちこちで見られる解散となりました。



## <キャンプ総括>

しまなみ海道には非常に沢山の方が同じルートを尾道から、もしくは今治から走られています。その方々の様子を見てみると、様々な様子を伺えます。友達同士だと、はしゃいで騒ぎながら走られています。本格的な服装の方々も黙々と走っておられます。親子だと親御様がずっと心配そうに見守りながら走っておられます。我々がグループで走っている時はどのような雰囲気で行っているのでしょうか。私が思うに、【全て】です。時には緊張感を持って黙々と走り、時には和気あいあいと楽しく走り、時にはお互いを励まし、安全に見守りながら走っています。その変化があるから総合的に『楽しい』のだと考えています。グループを引率するスタッフがその時、その状況に一番適した【雰囲気作り】を行います。しかし、我々もつい偏った雰囲気にしてしまいがちです。そうならないようフリーのスタッフがグループ全体に声を掛け、修正していきます。自転車を漕いでゴールまで向かうというだけのプログラムだからこそ、『雰囲気』が重要です。そうした事もキャンプを通して伝えていきたいです。 (竹中 哲郎)